

デジタル変革の鍵！

ローカルベンチマークで実現する 高収益DX戦略 ワークショップ

好評につき
追加開催決定

企業経営の健康診断・見える化で 潜在的“稼ぐ力”の源泉を把握！

日々変化する経営環境の中で、会社の「今」を正確に把握し、「未来」を見据えた戦略を描くことが求められています。

本ワークショップでは、経営ツールである「ローカルベンチマーク」を用い、経営状況の分析方法と本質的なデータの見方を実践的に学びます。さらに、実習形式で自社の強み・弱みを財務・非財務の両面から分析し、未来へのロードマップを作成することで、貴社の経営力向上の糸口を見つけることを目指します。

○日 時

2025年 3月 6日(木)・ 7日(金) 10時～15時

※先着順で定員になり次第、申込受付を締め切ります。

申込みはこちら



○場 所 テクノプラザものづくり支援センター
(各務原市テクノプラザ1-1)

○対象者 県内に事業所が存在する企業

※県外企業も応募いただけますが、応募多数の場合には、県内企業を優先させていただきます。

※1名からご応募いただけますが、企業経営者含め複数人でご参加いただくことを推奨しております。

受講料

無料

定員(各回)

先着 5 社

ローカルベンチマークとは？

ローカルベンチマーク（略称：ロカベン）とは、企業の経営状態の把握、いわゆる「企業の健康診断」を行うツールです。企業の経営者と金融機関・支援機関等がコミュニケーション（対話）を行いながら、ローカルベンチマーク・シートなどを使用し、企業経営の現状や課題を相互に理解することで、個別企業の経営改善や地域活性化を目指します。

【主催】テクノプラザものづくり支援センター 指定管理者 株式会社バイ・アール・テクノセンター

講師プロフィール



万年 貴弘（まんねん たかひろ）シニア・マネジャー

アクセンチュア株式会社
テクノロジー コンサルティング本部

- Sier企業でSE、コンサルタントとして勤務後、2010年アクセンチュア入社
- 素材、機械、消費財メーカーを中心に業務・システム全般について企画、要件定義、設計、開発、導入、保守運用支援を10年以上経験
- ERPを活用した全社改革経験多数。特に財務・管理・連結・IFRS・グローバルといった会計領域を専門領域としている



吉良 栄一郎（きら えいいちろう）コンサルタント

アクセンチュア株式会社
テクノロジー コンサルティング本部

- 2019年アクセンチュアに新卒入社
- SEとして鉄道会社の人事給与システムの新規機能設計・開発・保守運用を経験後、中小製造業生産性向上プロジェクト（CMEs）参画。機械製造メーカー、食品企業へのCMEs導入・業務改革を複数社経験
- ERPの中でも生産計画・販売・購買などとりわけロジスティクスやデータ移行を専門領域としている

ローカルベンチマーク・ワークショップ【実施概要】

ローカルベンチマークの基本的な考え方やシートの見方に関する講義と、自社の業務フロー・商流の整理やSWOT分析、将来ロードマップ作成を行う4つの実習を2日間に渡って行います。

※ローカルベンチマークを活用したことのある中小企業の94.8%が「活用後メリットがあった」と回答
具体的な効果として、61.7%が「自社の分析・把握ができた」と回答
33.9%が「補助金や助成金の申請活用できた」と回答（経済産業省 経済産業政策局 調査結果）

ローカルベンチマークを学ぶ

経営高度化に向けたはじめの一步

1日目

- ローカルベンチマークの概要
ワークショップの目的とローカルベンチマークの概要について説明
- 実習①：業務フローの整理
自社の業務フローの整理を実習形式で実施
- 実習②：商流の整理
自社の商流の整理を実習形式で実施

2日目

- ローカルベンチマークシートの構成
ワークショップの事前作業や実習でまとめた内容の反映方法などをシートの構成にふれて説明
- 実習③：強み・弱みの分析（SWOT分析）
財務、非財務を紐づけた分析を実施
- 実習④：将来目標ロードマップ
分析を踏まえた目標ロードマップの作成を実施

【お問合せ先】

テクノプラザものづくり支援センター指定管理者
株式会社ブイ・アール・テクノセンター 研修部
〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ1-21
TEL：058-379-6370
E-mail：mono-kensyu@gifu-techno.jp

